

福祉サービス第三者評価結果

| | |
|------|-------------------------|
| 事業所名 | 社会福祉法人 森友会 こころの森こども園 |
|------|-------------------------|

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和4年10月1日

③事業者情報

| | |
|-------------------------------|---------------------|
| 名称：社会福祉法人 森友会 こころの森こども園 | 種別：保育所 |
| 代表者氏名：理事長 立山貴史 | 定員(利用人数) 105名(100名) |
| 所在地：〒870-0130 大分市横尾東町3丁目19-16 | |
| TEL：097-520-8822 | |

④総評

◇評価の高い点

○理事長が経営ビジョン（10年計画）を策定し、「永続的に社会に必要とされる法人になるための基礎を培う10年とする。」目標を掲げて、「すべての子どもの最善の利益のために」を保育理念として、より広範に保育サービスの動向等を把握しながら、保育の質の向上にむけて、組織的・計画的に取り組んでいる。

○法人全体の単年度計画として「中長期・短期事業計画令和4年度」を策定し、地域・保護者・社会福祉等の動向を把握、分析して、最重点課題を明確にし、改善に向けて計画的、具体的に取り組んでいる。

○職員の人材育成については、「職員の心得マニュアル」を策定しており、“よき保育者になるため”に具体的に保育者が取り組む、社会人としての基本に必要な項目を掲げ、社会性・専門性・個々の職員の身だしなみ・人権に配慮した保育名等々について、職員一人ひとりが自らモチベーションを高めて、質の高い保育所づくりに取り組んでいる。

○子どもの自主最善の利益を考慮した、「誉める保育」「自主自発の保育」「異年齢交流保育」等、子ども一人ひとりの存在を大事に認め、誉められる事で自己肯定感を育まれ、異年齢交流保育は、児童が多様な集団へ参加することから、協力・共同の社会性が育まれる等々、工夫しながら保育支援に取り組んでいる。

○子どもが大事な存在であることを態度（表情）と言葉で伝えることを大切にし、「誉める保育」を実践している。

○「自主自発の保育」の取組に積極的であり、子供が意欲的に「する」保育になるように保育環境や職員の声かけなどにも留意している。

○保育の計画に「食育の推進」を位置付け、取り組みを行っている。また個人差や食欲に配慮して、食べたい時間に食べたい分量を食べれるようにしている。また園

内で野菜を育て収穫する取り組みなどを行っている。

○3歳未満児については連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。また送迎の際に保護者との情報交換を行い、記録に残して必要なことは職員間で共有している。

○職員が定期的に自己評価、振り返りを行い、互いの学びあいや意識の向上につなげている。

◇改善を求められる点

○福祉人材の確保・定着について、当法人の大分地区の他保育園と情報を共有化しながら、今後とも、計画的に取り組むことを期待する。

○個別に落ち着ける場所のさらなる整備・工夫や防音、吸音の工夫を期待する。

○食物アレルギー以外でも保育所において対応が求められる主なアレルギー疾患についても適切な対応が取れるようアレルギー対応ガイドラインをもとに取り組むを行うよう期待する。

○担任制でないため、相談したいときに誰に相談したらよいかわからないという保護者へ相談方法の周知や3歳以上児の連絡ノートの活用などの取り組みを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

「すべての子どもの最善の利益のために」を基本理念とする本園の教育・保育の質を更に高めていくため、初めて第三者評価を受審しました。

調査当日にいただいた、現場の実態を踏まえた的確な助言や、今後更なる改善を期待されるとされた項目につきましては、本園の課題として受け止め、よりよい方向へ進んでいけるように取り組むとともに、教育・保育の質の向上を目指してまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）

6 調査報告書

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|-------------------------|-----------|
| I-1-(1) | 理念、基本方針が確立・周知されている。 | |
| I-1-(1)-① | 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | Ⓐ ・ b ・ c |

I-2 経営状況の把握

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|---------------------------------|-----------|
| I-2-(1) | 経営環境の変化等に適切に対応している。 | |
| I-2-(1)-① | 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| I-2-(1)-② | 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | Ⓐ ・ b ・ c |

I-3 事業計画の策定

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|---|-----------|
| I-3-(1) | 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | |
| I-3-(1)-① | 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| I-3-(1)-② | 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| I-3-(2) | 事業計画が適切に策定されている。 | |
| I-3-(2)-① | 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| I-3-(2)-② | 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | a ・ Ⓑ ・ c |

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|--|-----------|
| I-4-(1) | 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | |
| I-4-(1)-① | 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| I-4-(1)-② | 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | Ⓐ ・ b ・ c |

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|------------|----------------------------------|-----------|
| II-1-(1) | 管理者の責任が明確にされている。 | |
| II-1-(1)-① | 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-1-(1)-② | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-1-(2) | 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | |
| II-1-(2)-① | 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-1-(2)-② | 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |

II-2 福祉人材の確保・育成

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|------------|---|-----------|
| II-2-(1) | 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | |
| II-2-(1)-① | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| II-2-(1)-② | 総合的な人事管理が行われている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-2-(2) | 職員の就業状況に配慮がなされている。 | |
| II-2-(2)-① | 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-2-(3) | 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | |
| II-2-(3)-① | 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-2-(3)-② | 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-2-(3)-③ | 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-2-(4) | 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | |
| II-2-(4)-① | 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | Ⓐ ・ b ・ c |

II-3 運営の透明性の確保

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|------------|----------------------------------|-----------|
| II-3-(1) | 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | |
| II-3-(1)-① | 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| II-3-(1)-② | 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | Ⓐ ・ b ・ c |

II-4 地域との交流、地域貢献

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|------------|---|-----------|
| II-4-(1) | 地域との関係が適切に確保されている。 | |
| II-4-(1)-① | 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| II-4-(1)-② | ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| II-4-(2) | 関係機関との連携が確保されている。 | |
| II-4-(2)-① | 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| II-4-(3) | 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | |
| II-4-(3)-① | 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| II-4-(3)-② | 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | a ・ Ⓑ ・ c |

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-------------|-------------------------------------|-----------|
| III-1-(1) | 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | |
| III-1-(1)-① | 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| III-1-(1)-② | 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| III-1-(2) | 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。 | |
| III-1-(2)-① | 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 | Ⓐ ・ b ・ c |

| | | |
|-----------|--|-----------|
| Ⅲ-1-(2)-② | 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(2)-③ | 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| Ⅲ-1-(3) | 利用者満足の上昇に努めている。 | |
| Ⅲ-1-(3)-① | 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(4) | 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | |
| Ⅲ-1-(4)-① | 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(4)-② | 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(4)-③ | 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(5) | 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 | |
| Ⅲ-1-(5)-① | 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(5)-② | 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-1-(5)-③ | 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|--|-----------|
| Ⅲ-2-(1) | 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | |
| Ⅲ-2-(1)-① | 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-2-(1)-② | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-2-(2) | 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | |
| Ⅲ-2-(2)-① | アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-2-(2)-② | 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-2-(3) | 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 | |
| Ⅲ-2-(3)-① | 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| Ⅲ-2-(3)-② | 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | Ⓐ ・ b ・ c |

内容評価基準(20項目)

A-1 保育内容

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|---|-----------|
| A-1-(1) | 全体的な計画の作成 | |
| A-1-(1)-① | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2) | 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | |
| A-1-(2)-① | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| A-1-(2)-② | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-③ | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-④ | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-⑤ | 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-⑥ | 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-⑦ | 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-⑧ | 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| A-1-(2)-⑨ | それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(2)-⑩ | 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法保護者との関わりに配慮している。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| A-1-(3) | 健康管理 | |
| A-1-(3)-① | 子どもの健康管理を適切に行っている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| A-1-(3)-② | 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(3)-③ | アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a ・ Ⓑ ・ c |
| A-1-(4) | 食事 | |
| A-1-(4)-① | 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | Ⓐ ・ b ・ c |
| A-1-(4)-② | 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | Ⓐ ・ b ・ c |

A-2 子育て支援

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|--|-------------|
| A-2-(1) | 家庭との緊密な連携 | |
| A-2-(1)-① | 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a ・ (b) ・ c |
| A-2-(2) | 保護者等の支援 | |
| A-2-(2)-① | 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a ・ (b) ・ c |
| A-2-(2)-② | 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | (a) ・ b ・ c |

A-3 保育の質の向上

| 項目番号 | 項目 | 第三者評価結果 |
|-----------|---|-------------|
| A-3-(1) | 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価) | |
| A-3-(1)-① | 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | (a) ・ b ・ c |